

川崎国際環境技術展2016 の開催について

Kawasaki International Eco-Tech Fair 2016

川崎市では、企業等の有する優れた環境技術を急速に工業化が進むアジア地域を中心に広く世界に情報発信するとともに、国内外の企業とのビジネスマッチングの場を提供する「川崎国際環境技術展2016」を開催します。本展示会を通じて、企業のビジネスマッチングの機会を創出し、環境分野でのイノベーションの推進と産業活性化を図ってまいります。

1 日 程 平成28年2月18日(木)・19日(金) 両日とも10:00～17:00

2 会 場 とどろきアリーナ(川崎市中原区等々力1-3)

3 入 場 料 無料

4 出展状況 148団体215ブースが出展(2月1日現在)

5 開催概要

(1) 主催者企画

- ・ テーマ企画「世界をリードする川崎のポテンシャルの発信」
- ・ 水素関連技術の展示を集めた「水素ゾーン」の設置
- ・ 燃料電池自動車などエコカーの試乗体験会 ほか

(2) 主なセンターステージプログラム

2月18日

- ・ オープニングセレモニー
- ・ 市長プレゼンテーション
- ・ 水素エネルギーセミナー [①千代田化工建設(株)技師長 岡田佳巳氏
②トヨタ自動車 MIRAI チーフエンジニア 田中義和氏]
- ・ 低CO₂川崎ブランド'15認定結果発表会
- ・ バンドン市(インドネシア)と川崎市の覚書締結式 ほか

2月19日

- ・ 環境産業フォーラム ((一財)日本総合研究所 理事長 寺島実郎氏)
- ・ かわさきコンパクトフォーラム [国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問
川崎市国際環境施策参与 末吉竹二郎氏]
- ・ 出展企業によるビジネスプレゼンテーション
- ・ クロージングセレモニー ほか

(3) ビジネスマッチング

- ・ 支援機関による海外展開、販路拡大等をテーマとした多彩なセミナー
- ・ 通訳体制の完備(英語・中国語・韓国語)
- ・ プライバシーに配慮した商談スペースを配備 ほか

6 同時開催

第12回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム (2月18日)

7 海外関係来場予定

中国、韓国、タイ、ベトナム、アメリカ、デンマーク、ドイツ 他 約30か国200名を予定



【昨年の会場の様子】



【テーマ企画イメージ図】



【燃料電池自動車などのエコカー】

【テーマ企画】世界をリードする川崎のポテンシャルの発信

川崎市は、今後、成長が期待される産業分野の取組を推進しており、グリーン・ライフ・ウェルフェアの3つのイノベーションを掲げ、世界が直面している、環境・健康・医療・福祉分野における課題解決への貢献を目指しています。世界をリードする、川崎の3つのイノベーションの取組についてご紹介します。



グリーンイノベーション(環境産業)

■「環境技術・産業を活かしたサステナブル・シティの創造」を進める川崎グリーンイノベーションの取組の紹介 ほか

ライフイノベーション(医療産業)

■アルツハイマー病、難治がん、脊髄損傷の治療法や、最先端ロボットをはじめとした医療機器などの研究開発が行われる「キングスカイフロント」の整備状況や集積する企業等の紹介 ほか

PICK UP! 「水素」ゾーン

水素が切り開く「未来型環境・産業都市」の実現に向けて！
水素の導入と活用による「未来型環境・産業都市～水素to人が暮らすまち～」を目指す川崎市の水素の取組の最新情報を、燃料電池自動車や水素ステーションなどの最新技術の展示やステージプログラムなどとあわせて、わかりやすく紹介します。

ウェルフェアイノベーション(福祉産業)

■ウェルフェアイノベーションフォーラムの紹介
・創出プロジェクトの紹介 ほか
■利用者にとって最適な福祉製品のあり方を示した川崎市独自の基準「かわさき基準(通称KIS)」の紹介
・認証製品の紹介

エコカー試乗体験

FCV(燃料電池車)をはじめとする最新のエコカーの試乗会を開催します。実際に乗ってみて、是非体感してください。

2月18日[木]・19日[金] 10:30～16:00

【試乗車】 ■ MIRAI、新型プリウス ■ リーフ、e-NV200 ■ アウトランダーPHEV

協力：神奈川トヨタ自動車、神奈川日産自動車、関東三菱自動車販売



屋外試乗会場にて受付・参加無料

同時開催イベント 第12回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム

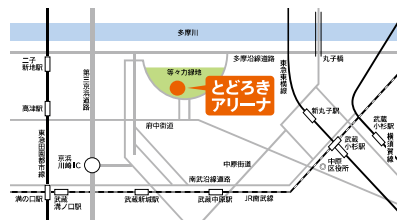
先進的な環境技術・戦略の情報交換の場として、国連環境計画(UNEP)との連携により、「第12回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」を同時開催します。市内企業の環境改善に係る国際貢献の取組や海外都市の環境配慮の取組事例などについて発表します。

2月18日[木]
10:00～16:40

【場所】サブアリーナ研修室

参加
申込不要
無料

■ アクセスマップ



とどろきアリーナ前行き直行シャトルバス運行

開催期間中は、武蔵小杉駅北口より無料シャトルバスを運行します。(10分～15分間隔)

■ その他の公共交通機関をご利用の場合

- 武蔵小杉駅(R-東急東横線・目黒線)北口よりバスで約7分
- [彩40]市民ミュージアム行き・[彩40]中原駅行き・[調05]溝口駅行きのいずれかに乗車しとどろきアリーナ前にて下車
- 溝口駅行き(宮内経由)「市営等々カグラランド入口」下車、徒歩5分
- 溝口駅(R南武線・東急田園都市線)ノクティ側/バスターミナルよりバスで約20分
- [調05]小杉駅行き「とどろきアリーナ前」下車
- [調02]小杉駅行き「市営等々カグラランド入口」下車、徒歩5分

■ イベント実施内容に関する情報、事前登録

<http://www.kawasaki-eco-tech.jp>

かわさきエコテック



■ お申し込み・お問い合わせ 川崎国際環境技術展 実行委員会事務局 (川崎市経済労働局 国際経済推進室内)

Tel. 044-200-2313
E-mail. 28ecotech@city.kawasaki.jp

今、かわさきから世界に伝えたい、環境技術。

川崎国際環境技術展2016

Kawasaki International Eco-Tech Fair 2016

2016年2月18日(木)19日(金)

とどろきアリーナ [10:00～17:00]

神奈川県川崎市中原区等々力1-3

【同時開催】第12回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム

入場
無料

主催/川崎国際環境技術展実行委員会

【委員会メンバー】川崎市、川崎市教育委員会、外務省、文部科学省、経済産業省、環境省、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)日本貿易振興機構、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、(独)国際協力機構、(独)中小企業基盤整備機構、(独)環境再生保全機構、国立研究開発法人 国立環境研究所、慶應義塾大学、明治大学、専修大学、環境福祉学会、国連工業開発機関、香港貿易発展局、神奈川県、NPO法人環境エネルギー政策研究所、NPO法人産業・環境創造イノベーションセンター、NPO法人アジア起業家村推進機構、(公財)フォーリンプレスセンター、(一財)日本環境衛生センター、川崎強部再生リサイクル推進協議会、川崎地球温暖化防止活動推進センター、川崎商工会議所、川崎市工業団体連合会、川崎工業振興倶楽部、(公財)川崎市産業振興財団
【後援(予定)】在日カンボジア王国大使館、中華人民共和國駐日本国大使館、デンマーク王国大使館、駐日大韓民国大使館、駐日ラオス人民民主共和国大使館、駐日オマーン・スルタン国大使館、駐日ベトナム社会主義共和国大使館、アメリカ州政府協会、オーストラリア・クイーンズランド州政府駐日事務所、日本経済新聞社、神奈川新聞社、TVK、共同通信社
【協賛】東証セネラル石炭(株)、日本電業(株)、川崎信用金庫、(株)東芝、東洋ロビイ(株)、富士通(株)、JXエネルギー(株)、JFEグループ、東京ガス(株)、(株)横浜銀行、(株)エフアンドケーグループ、川崎アシア(株)
【協力】(公財)川崎国際交流協会、川崎国際ビジネス交流推進協議会

ビジネスマッチングを 強力にサポート!



ビジネスにつながるステージプログラムや
支援機関によるサポート、
商談ブースを用意しています。

世界をリードする 最新の環境技術の展示!



最新の環境製品・技術が川崎に
一堂に会します。水素社会の実現に向けた
川崎の取組なども紹介しています。

究極のエコカーを体感!



会場内では市公用車に導入する
「MIRAI」を展示、
屋外では試乗会を行います。

川崎国際環境技術展2016 招待者登録証

■ アンケート 必須記入 該当項目に にしてください。

① 職業 * にチェックの記入をお願いします。

- 製造業 IT/システム関連 環境技術関連 リサイクル関連
- エネルギー関連 金融関連 商社関連 行政関連
- 学校/研究関連 海外企業・関連 一般 学生
- 表記以外の方 ()

② 性別

- 男性 女性

③ 年齢

- 10代 20代 30代 40代 50代 60代以上

④ 今後、事務局からの案内を希望しますか。 ■ 希望する ■ 希望しない

※ご記入の情報は、本展示会の入場集計・記録以外の目的で使用いたしません。 ※展示会の開催風景を撮影し、公式サイトや次回印刷物に掲載を希望することがございますので、あらかじめご了承ください。

■ お問い合わせ

川崎国際環境技術展実行委員会事務局

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル10階 川崎市経済労働局 国際経済推進室内

公式サイト <http://www.kawasaki-eco-tech.jp>

■ 受付で名刺1枚をご用意ください。

● 事前に名刺を添付ください(名刺のない方は下記にご記入ください)。
Please fill out in block letter or attach the name card.

勤務先 Company	_____
名 所在地 干 Address	_____
所属・役職 Position/Title	名刺1枚をご用意ください。
氏名 Name	_____
TEL ()	FAX ()
e-mail	_____

Tel.044-200-2313 Fax.044-200-3920

E-mail.28ecotech@city.kawasaki.jp

かわさきエコテック



「川崎」に最先端の環境技術やノウハウが集結! 国内外の「ビジネスマッチング」を強力にサポートします!

環境技術展示

「川崎国際環境技術展」は、国内外の環境問題に即応する環境技術から地球環境問題を解決する最先端の環境技術まで幅広く展示を行い、川崎の地から国内外へ発信し、出展企業・団体と国内外の企業等とのビジネスマッチングの場を提供します。



出展分野と出展団体

※平成27年12月15日現在の情報です。

環境改善技術関連

大気・水・土壌汚染等の改善に関する技術・サービス

- 株式会社アイ・ビー・エス
- アップコン株式会社
- ヴェロパワーズ合同会社
- エコ・エンジニアリング株式会社
- NOFメタルコーティングス株式会社
- オーム電機株式会社
- 関東経済産業局
- 株式会社近藤工業
- 公益財団法人さいたま市産業創造財団
- 株式会社スーパードライ
- 東京製鋼株式会社
- 東京大学
- 株式会社日本エレクトロニクス
- ノースカロライナ州政府日本事務所
- フジクス株式会社/住環境共生リニューアブル協会
- 富士電機株式会社
- 株式会社ワールドビジネス

エネルギー関連

新エネ・省エネ機器・設備・システム・ソリューション

- ICOP I.T.G. 株式会社
- NEC
- エリパーワ-株式会社
- 川崎市新エネルギー振興協会
- 川崎天然ガス発電株式会社
- 川崎バイオマス発電株式会社
- 株式会社キョウエイ
- 株式会社ジョウエイ
- 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
- 高石工業株式会社
- 株式会社高砂製作所
- 東京ガス株式会社
- 株式会社東芝
- 東燃セナラ石油株式会社
- ナノフェル株式会社
- 日本エ・リキッド株式会社
- 日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社
- 三菱化工機株式会社

環境への取組関連

企業・団体等が取り組むCSR・CSV活動や環境教育等

- 味の素株式会社川崎事業所
- 一般社団法人エコまちフォーラム
- 株式会社オスモ
- 神奈川新聞社
- かわさきエコテック
- 川崎市環境局環境対策部環境対策課・総合企画室
- 川崎環境局地球環境推進室
- 川崎市上下水道局
- 川崎市信用保証協会
- 川崎ゼロ・エミッション工業団地
- かわさきビジネスネットワーク
- 佐藤工業株式会社
- JFEグループ
- 一般社団法人持続可能で安全安心な社会をめざす新エネルギー活用推進協議会
- 昭和電工株式会社川崎事業所
- 世田谷区
- 宝養生資材株式会社
- 東亜建設工業株式会社
- 日本工務株式会社
- 富士通株式会社
- 株式会社ミューファクトジャパン
- 株式会社エニオン産業
- 理研計器株式会社

国際関連

各国の環境問題・環境技術のニーズ・シーズ等の紹介

- アイオワ州経済開発機構
- NPO法人アジア起業家村推進機構(一社)アジアサイエンスカフェ
- 一般社団法人アジア国際協力推進支援機構(AICA)
- 株式会社ePIA
- インドネシア共和国(バンドン市)
- 川崎市海外ビジネス支援センター-KOBS
- 川崎(バンドン)エンジニアリングズトリルパーク
- 独立行政法人国際協力機構(JICA)横浜国際センター
- 上海市環境保護局
- Xuhui Hengyuan Plastic Packaging Corp
- 瀋陽市人民政府
- タイ国大連経済・投資事務所
- 中国大連環境・投資センター
- 中国マカオ国際環境協力フォーラム・見本市
- 独立行政法人中小企業基盤整備機構
- 中小企業国際交流促進協会
- 青島市外商投資サービスセンター
- DGFZ
- Tianjin Baodi Redbud Technology co.,LTD
- デンマーク大使館
- 日本貿易振興機構(ジェトロ)横浜貿易情報センター
- 富川輸出中小企業協会
- 株式会社PEARカーボンオフセット・イニシアティブ
- 株式会社北京大学公システム
- ベトナム・ハリアンテクノ
- ベトナム・ハリアンテクノ
- 香港貿易発展局
- 遼寧電子技術(上海)有限公司
- 良機生機産業科技有限公司

産学官連携関連

環境分野での大学・研究機関等の産学官連携の取組・研究成果

- 株式会社M&Tテクノロジー
- 神奈川県企業技術促進協議会
- 神奈川工科大学
- 川崎市環境総合研究所
- 川崎市経済労働局国際経済推進室
- 公益財団法人川崎市産業振興財団
- 川崎商工会議所
- 川崎信用金庫
- 慶應義塾大学新川崎(K)キャンパスKPKPI
- 京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議
- 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
- 学校法人五島育英会京都府立大学
- 特定非営利活動法人産業・環境創造リサーチセンター
- 専修大学情報科学研究科
- 日本理士会関東支部

エコプロダクツ関連

省エネ・省資源・再資源化等の環境性能を向上した製品

- 一般社団法人産業環境管理協会
- 株式会社ジェントルライティング
- 株式会社産商

廃棄物・リサイクル技術関連

廃棄物処理の高度化・リサイクル等に関する技術・サービス

- えひめ産業振興財団
- エム・エム・プラスチック株式会社
- 川崎市環境衛生生活環境部
- 株式会社クレハ環境
- コアレックス三栄株式会社東京工場
- 三協興業株式会社
- JFE環境株式会社
- 信号器材株式会社
- 東洋ロワイ株式会社
- 一般財団法人日本環境衛生センター
- ベトリファイブテクノロジー株式会社

小品コーナー

パンフレット・パネル等

- カシコン銀行
- クワンズランド州政府
- 株式会社ジャックスレジネスコンサルティング
- トヨタ貿易・投資振興機関

ステージ・プログラム

※プログラムの内容は、予告なく変更になる場合があります。

2月18日(木)

センターステージ

- 10:00~10:30 **オープニングセレモニー**
- 10:35~10:50 **市長プレゼンテーション**
川崎市長 福田 紀彦
- 11:00~12:00 **水素エネルギーセミナー①**
「水素の大規模貯蔵輸送技術と今後の展望」
千代田化工建設株式会社 技術開発ユニット兼水素チェーン事業推進ユニット 技師長 岡田 佳巳 氏
- 12:05~13:05 **水素エネルギーセミナー②**
「燃料電池自動車MIRAIの開発と水素社会の実現に向けて」
トヨタ自動車株式会社 製品企画本部チーフエンジニア MIRAI開発責任者 田中 義和 氏
- 13:10~13:30 **特別講演**
「世界が取り組む始めたCOP21」
東京工科大学教授 足立 芳寛 氏
- 13:45~14:45 **低CO₂川崎ブランド認定結果発表会**
認定結果発表・授与式・講評
ブランド認定企業によるプレゼンテーション
- 15:00~15:20 **川崎市が提携するタイ・レンタル工業団地のご紹介**
- 15:30~16:10 **バンドン市(インドネシア)と川崎市との低炭素で、持続可能な都市形成に向けた都市間連携に関する覚書締結式**



海外団体ビジネスプレゼンテーション

- 2月18日(木) 11:00~12:00
海外団体が海外の環境ビジネスへの取組について、プレゼンテーションを行います。
【場所】会場内セミナーベース
● 11:00~ 韓国・大邱広域市自由区域庁 ● 11:20~ 香港貿易発展局
● 11:40~ 中国・青島市外商投資サービスセンター

環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー

- 2月18日(木) 13:30~16:00
各地域で環境ビジネスを展開する企業が、「製品・サービスの開発」「販売網開拓」などの新たなビジネスパートナーを発掘するために自社事業(商品・技術・システム等)のプレゼンテーションを実施するほか、商談会を実施いたします。
【場所】会場内セミナーベース 【主催】関東経済産業局
【プレゼン企業】
● サイエンス株式会社(埼玉)
● エスケー石炭株式会社(東京)
● 株式会社ユニオン産業(神奈川)
● 株式会社グランテック(富山)
● 高砂工業株式会社(岐阜)
● 株式会社近江物産(滋賀)
● 東洋クリーン工業株式会社(奈良)
● エネフォレスト株式会社(大分)
● 株式会社トワード(佐賀)

2月19日(金)

センターステージ

- 10:30~11:30 **環境産業フォーラム**
「世界の構造転換と日本ービッグデータ時代の環境産業ー」
一般財団法人日本総合研究所理事長 寺島 美郎 氏
- 11:40~12:40 **かわさきコンパクトフォーラム**
「パリCOP21経由グリーン経済最前線」
国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問 川崎市国際環境政策委員 末吉 二郎 氏
- 13:00~15:00 **ビジネスプレゼンテーション**
※詳細は下記をご覧ください
- 15:15~16:15 **かわさきグリーンイノベーションクラスタ取組発表会**
都市間連携によるヤンゴン市(ミャンマー)での低炭素化支援の取組
- 16:30~17:00 **クロージングセレモニー**



ビジネスプレゼンテーション

- 2月19日(金) 13:00~15:00 【場所】センターステージ
出展企業が、各社の優れた環境技術、商品、サービス等についてプレゼンテーションを行います。
- 13:00~ 「水素ステーションの概要と日立オートモティブシステムズメジャメントの水素ディスプレイについて」
日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社 新エネルギー部 課長 中井 寛 氏
- 13:20~ 「地域経済の活性化とエネルギー・環境問題の同時解決を目指して」
一般社団法人エコまちフォーラム 専務理事事務局長 中丸 正 氏
- 13:40~ 「電源のベストミックスにおける液体バイオマス発電の役割」
ナノフェル株式会社 代表取締役社長 松村 健彦 氏
- 14:00~ 「三協興産の環境改善事業(非貴金属系VOC分解触媒、アスベスト除去・資源化事業、食品リサイクル事業)の紹介」
三協興産株式会社 技術開発部 執行役員部長 川見 佳正 氏
- 14:20~ 「節電は発電!水銀灯に代わる次世代照明「無電極ランプ」」
株式会社ジェントルライティング 代表取締役 石橋 博 氏
- 14:40~ 「薬剤を使わない環境配慮型排煙装置「エムレボエア」を活用した、和住宅エコ環境浄化浄化実証実験のご紹介」
株式会社エディテラス 代表取締役 利田 和久 氏

海外展開支援セミナー

- 2月19日(金) 【場所】会場内セミナーベース
海外展開につながる支援制度を紹介いたします。セミナー後、各ブースにて相談会を実施いたします。
- 11:30~11:50 「国際協力銀行の地球規模での環境への取り組みについて」
(株)国際協力銀行 産業ファイナンス部門 中堅・中小企業担当特命副部長 参事役 岸田 開文 氏
- 11:55~12:15 「中小企業のための海外F5ガイド-東アジアでの販路開拓の事例から-」
(株)中小企業基盤整備機構 シニアアドバイザー(国際化支援) 藤原 洋一 氏

上記の企業情報は

川崎国際環境技術展2016

Kawasaki International Eco-Tech Fair 2016

関連事業について

I 「低CO₂川崎ブランド' 15」・「川崎メカニズム認証制度」 の認定・認証結果及び発表会について

低CO₂川崎ブランド：10件認定、大賞2件（味の素株式会社、宙総合研究所株式会社）
川崎メカニズム認証制度：2件認証

技術展では、低CO₂川崎ブランドに認定された製品・技術等について、表彰式を行います。

<低CO₂川崎ブランド認定結果発表会>

日時 平成28年2月18日（木） 13時45分～14時45分

場所 とどろきアリーナ センターステージ

- 内容**
- 1 表彰式（大賞表彰状・認定証等の授与）
 - 2 認定結果講評
 - 3 大賞受賞企業によるプレゼンテーション

1～7 ページ

II 「インドネシア共和国バンドン市と川崎市との 都市間連携の促進に向けた覚書締結式」

バンドン市と本市は平成27年7月に基本合意書を締結しておりますが、このたび、都市間連携をさらに推進するため、持続可能な都市の形成に向けた覚書を締結することになり、技術展にて締結式を行います。

日時 平成28年2月18日（木） 15時30分～16時10分

場所 とどろきアリーナ センターステージ

- 内容**
- 1 バンドン市長、川崎市長 挨拶
 - 2 調印式
 - 3 記念撮影

8～13 ページ

III 「第12回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」

国連環境計画（UNEP）や国立環境研究所との連携により、本市とアジア・太平洋地域をはじめとする参加都市間の信頼関係の醸成の場として、また、市内企業の優れた環境技術・戦略の情報交換の場として、標記フォーラムを技術展と同時開催いたします。市内企業の環境改善に係る国際貢献の取組や海外都市の環境配慮の取組事例などについて発表いたします。

日時 平成28年2月18日（木） 10時00分～16時40分

場所 サブアリーナ2階 研修室

- 内容**
- ・主催者挨拶（川崎市長）
 - ・基調講演
 - ・各種セッション

14 ページ

「低CO₂川崎ブランド’15」・「川崎メカニズム認証制度」

の認定・認証結果及び発表会について

1 低CO₂川崎ブランド’15の認定結果について

(1) 低CO₂川崎ブランド事業の概要

低CO₂川崎ブランドは、生産段階だけでなく、原材料の調達から廃棄等までのライフサイクル全体でCO₂を削減できる市内企業の製品・技術等をブランドとして認定し、広く発信することで、製品・技術等の普及を促進し、地球温暖化防止を図る川崎独自の認定事業です。

なお、事業を開始した平成21年度から、昨年度までに6回認定を行っており、延べ55件の製品・技術等を認定しています。

(2) 「低CO₂川崎ブランド’15」の認定結果

今年度は10件の製品・技術等について認定し、認定したものの中から、特に優れた先進性・独自性等を有する2製品を大賞に選定いたしました。(詳細は別紙1-1, 1-2参照)

【大賞（五十音順）】

	部門	企業名	製品・技術等の名称
1	製品・技術	味の素株式会社	飼料用アミノ酸「リジン」
	【理由】すでに国内外で広く利用され、家畜の糞尿に起因して、市民・企業などから排出される「市内全域における温室効果ガス排出量」の約1%（約24万トン）に相当する極めて大きな削減に貢献		
2	製品・技術	宙総合研究所株式会社	宙冷却塔用銀イオンシステム
	【理由】規模の大きい冷却塔では年間数千トン以上の大幅な節水を可能にする優れた製品であり、その節水効果により約30%のCO ₂ 削減		

【大賞以外の認定一覧（五十音順）】（詳細は別紙2参照）

	部門	企業名	製品・技術等の名称
1	製品・技術	株式会社アクス	スラブ開口部スライド補強筋BOX「セルボン」
2	製品・技術	MD I 株式会社	BLACK BOX 超小型水熱源ヒートポンプ/チラー
3	製品・技術	佐野デザイン事務所	クッションサン・リーヴス
4	製品・技術	J F E スチール株式会社	自動車用熱延高強度鋼板「NANO ハイテン®」
5	製品・技術	株式会社東芝	C帯固体化MPレーダ【川崎メカニズム同時申請】
6	製品・技術	株式会社東芝	郵便区分機「T T - 2 1 0」【川崎メカニズム同時申請】
7	製品・技術	株式会社ユニオン産業	植物配合抗菌樹脂「UNI-PELE（ユニペレ）」
8	サービス	和光産業株式会社	ワクスル・グリーンクリーニング 水研磨・資源循環型床ワックス管理

(3) 「低CO₂川崎ブランド認定結果発表会」の開催

今年度認定した製品・技術等については、次のとおり表彰式を行います。

ア 日程 平成28年2月18日(木) 13時45分～14時45分

イ 場所 とどろきアリーナで開催する「川崎国際環境技術展」内のセンターステージ

ウ 内容 ① 低CO₂川崎ブランド'15の表彰式(大賞表彰状・認定証・楯の授与)

② 認定結果講評

③ 大賞受賞企業によるプレゼンテーション

2 平成27年度川崎メカニズム認証制度の認証結果について

(1) 川崎メカニズム認証制度の概要

ライフサイクル全体でCO₂の削減につながる技術・製品等を対象とする点では低CO₂川崎ブランドと同じですが、より精緻に削減量を計算し、さらに他都市でのCO₂削減に貢献している量、いわゆる「域外貢献量」も認証し、市内企業の貢献を見える化するものです。

なお、事業を開始した平成25年度から、昨年度までに2回認証を行っており、延べ14件の域外貢献量を認証しています。

(2) 「平成27年度川崎メカニズム認証制度」の認証結果

今年度は2件の製品について域外貢献量を認証いたしました。(詳細は別紙3参照)

	企業名	製品・技術等の名称	認証する数値
1	株式会社東芝 小向事業所	C帯固体化MPレーダ	【域外貢献量】 5.59×10 ² トン(CO ₂ 換算) 【1台あたりのCO ₂ 削減量】 2.82×10 ² トン(CO ₂ 換算)
2	株式会社東芝 小向事業所	郵便区分機(TT-210)	【域外貢献量】 1.65×10 ⁴ トン(CO ₂ 換算) 【1台あたりのCO ₂ 削減量】 2.30×10 ² トン(CO ₂ 換算)

※ 川崎メカニズムは、ライフサイクルアセスメント(LCA)手法を活用して、市内企業の域外貢献量を「見える化」し、企業が市場で適切に評価される仕組みです。

※ 1台あたりのCO₂削減量については、原材料調達から廃棄等までのライフサイクル全体で算定したものです。

川崎市環境局地球環境推進室
電話 044-200-3872
FAX 044-200-3921

低CO₂川崎ブランド '15 大賞受賞製品①

●味の素株式会社

- 所在地 東京都中央区京橋1丁目15番1号
- 代表者 代表取締役 取締役社長 最高経営責任者 西井 孝明
- 設立 1925(大正14)年12月 (創立:1909(明治42)年5月)
- 資本金 7,986,300万円 (2015年3月31日現在)
- 従業員数 単体3,484人 連結31,312人 (2015年3月31日現在)
- 川崎事業所(川崎区鈴木町1番1号)の事業概要等
 - 1914年(大正3年) 川崎工場操業開始
 - 約3,000人が働く味の素グループ最大の拠点
 - 川崎工場・イノベーション研究所・バイオファイン研究所・食品研究所が立地
 - 味の素、ほんだし、Cook Do、アミノ酸などを生産

※ 飼料用アミノ酸「リジン」については、川崎事業所内バイオファイン研究所で研究・開発が行われており、生産・販売は味の素アニマル・ニュートリション・グループ株式会社が行っています。

味の素株式会社

味の素アニマル・ニュートリション・グループ株式会社
飼料用アミノ酸「リジン」

■製品・技術等の概要

家畜の飼料に特に不足しやすい必須アミノ酸「リジン」を補い、より効率的に必要な栄養を摂取させることを可能とする飼料用アミノ酸

■先進性・独自性等

独自の最新のバイオ技術を応用して製造したリジンの利用により、飼料中のアミノ酸バランスを改善。少ない飼料で必要な栄養を摂取できるようになるため、家畜の糞尿の量が減少し、糞尿由来の亜酸化窒素(温室効果はCO₂に換算すると310倍)の削減に貢献

■ライフサイクルでのCO₂削減

リジンを活用しない飼料と比較して、CO₂換算で約5%の排出量削減



低CO₂川崎ブランド '15 大賞受賞製品②

● 宙総合研究所株式会社

■所在地 川崎市多摩区東生田4丁目2番4号

■代表者 代表取締役 三嶋 和平

■設立 2001(平成13)年4月

■資本金 1,000万円 (2015年4月現在)

■従業員数 4人 (2015年4月現在)

■事業概要等

- 「新技術の実用化に向けての開発研究」及び「新技術の事業化と応用に関するコンサルティング」を行う。
- 大賞受賞の宙冷却塔用銀イオンシステムのほか、除菌・防臭・加湿効果のある超音波銀イオンミスト装置などを製品化

宙総合研究所株式会社 宙冷却塔用銀イオンシステム

■製品・技術等の概要

工場、オフィス、商業施設などに設置され、大量の水を扱う冷却塔の循環水管理(スケール・レジオネラ属菌防止対策)を、薬剤(化学薬品)投入に代わり、無公害で安全な銀イオン等によって管理する新しい冷却水処理システム



■先進性・独自性等

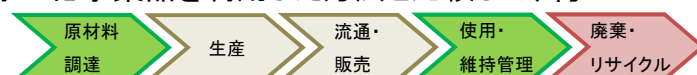
水を汚さずに殺菌できるため、循環水の入れ替えを約50%に抑制できる。水道水をつくるときに排出されるCO₂削減のみならず水不足の国・地域への貢献も期待される。

※ 例えば、冷却塔において年間24,000トンの水を消費する商業施設では、約12,000トンの節水が可能

※ 水道水を10,000トンつくるために、約3,500 kgのCO₂を排出

■ライフサイクルでのCO₂削減

既存の化学薬品を利用した方法と比較して、約30%のCO₂排出量を削減





低CO₂川崎ブランド' 15 認定製品・技術、サービス一覧

大賞

味の素株式会社

川崎区

製品・技術部門

大企業

味の素アニマル・ニュートリション・グループ株式会社 飼料用アミノ酸「リジン」



■製品・技術等の概要

家畜の飼料に特に不足しやすい必須アミノ酸「リジン」を補い、より効率的に必要な栄養を摂取させることを可能とする飼料用アミノ酸

■先進性・独自性等

独自の最新のバイオ技術を応用して製造したリジンの利用により、飼料中のアミノ酸バランスを改善。少ない飼料で必要な栄養を摂取できるようになるため、家畜の糞尿の量が減少し、糞尿由来の亜酸化窒素(温室効果はCO₂に換算すると310倍)の削減に貢献

■ライフサイクルでのCO₂削減

リジンを活用しない飼料と比較して、CO₂換算で約5%の排出量削減



大賞

宙総合研究所株式会社

多摩区

製品・技術部門

中小企業

宙冷却塔用銀イオンシステム

■製品・技術等の概要

工場、オフィス、商業施設などに設置され、大量の水を扱う冷却塔の循環水管理(スケール・レジオネラ属菌防止対策)を、薬剤(化学薬品)投入に代わり、無公害で安全な銀イオン等によって管理する新しい冷却水処理システム



■先進性・独自性等

水を汚さずに殺菌できるため、循環水の入れ替えを約50%に抑制できる。水道水をつくるときに排出されるCO₂削減のみならず水不足の国・地域への貢献も期待される。

※例えば、冷却塔において年間24,000トンの水を消費する商業施設では、約12,000トンの節水が可能(水道水を10,000トンつくるために、約3,500 kgのCO₂を排出)

■ライフサイクルでのCO₂削減

既存の化学薬品を利用した方法と比較して、約30%のCO₂排出量を削減



株式会社アクス

川崎区

製品・技術部門

中小企業

スラブ開口部スライド補強筋BOX「セルボン」

■製品・技術等の概要

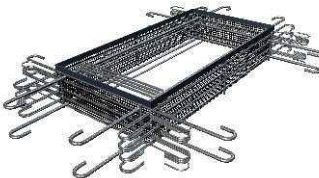
ビル建設時、資材の移動のため仮設床を一時的に開口し、その後補強・閉塞する施工において、従来の現場施工の工程を簡略化するスライド補強筋BOX

■先進性・独自性等

スラブ開口部の施工については、通常、現場で溶接等を要するが、このスライド補強筋BOXを使用することで、溶接が不要となり、消費エネルギーを削減するとともに、工期の短縮、産業廃棄物の削減を実現

■ライフサイクルでのCO₂削減

従来工法と比較して約20%のCO₂排出量を削減



MDI株式会社

川崎区

製品・技術部門

中小企業

BLACK BOX 超小型水熱源ヒートポンプ/チラー

■製品・技術等の概要

建物の空調設備について、蒸発器、凝縮器、サブクーラーが一体となった熱交換器を搭載することで、重量・容積及び冷媒の使用量を削減するヒートポンプ/チラー

■先進性・独自性等

従来型は熱交換器を3つ搭載していたところを1つにし、装置の構成を単純化したことにより重量・容積を大きく削減するとともに冷媒の使用量も削減

■ライフサイクルでのCO₂削減

同等能力である空気熱源チラーと比較して、約5%のCO₂排出量を削減



佐野デザイン事務所 中原区

製品・技術部門
中小企業

- 製品・技術等の概要
使用直前に一枚の紙を手でほぐすことで緩衝効果を作り出すため、輸送効率が良く、繰り返し使えてデザイン性も兼ね備えたギフト用緩衝材
- 先進性・独自性等
コンパクトな状態でお店などの利用者の手に渡り、使う時にボリュームを出す緩衝材であり、デザインの意匠性・機能性の観点からもCO₂排出削減に取り組んだ製品
- ライフサイクルでのCO₂削減
同等の用途で使用する紙パッキン(紙を細かくカットしたもの)と比較して、約15%のCO₂排出量を削減



株式会社東芝 小向事業所 幸区

製品・技術部門
大企業

- 製品・技術等の概要
マルチパラメーター観測技術や送信部の固体化技術などを駆使し、降水現象測定の高精度化、大幅な小型・軽量化を実現した気象レーダー
- 先進性・独自性等
送信デバイスの固体化(電子管⇒半導体)により、送信装置の小型化(従来の1/3)、長寿命化、及び省電力化(従来から33%削減)を実現
- ライフサイクルでのCO₂削減
同社旧製品と比較して、約40%のCO₂排出量を削減



株式会社ユニオン産業 中原区

製品・技術部門
中小企業

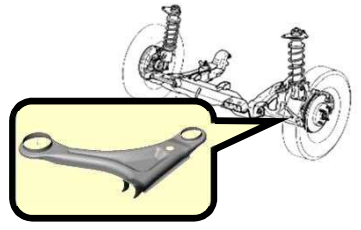
- 製品・技術等の概要
既存の樹脂に、微粉碎した竹などを混合して製造する植物配合樹脂であり、箸、カップ、トレーなどの家庭雑貨・日用品等の用途で使用
- 先進性・独自性等
独自の混合技術により製造するユニペレは環境に優しいだけでなく、優れた抗菌効果を有している。
- ライフサイクルでのCO₂削減
同等用途のABS樹脂と比較して、約50%のCO₂排出量を削減



JFEスチール株式会社 川崎区

製品・技術部門
大企業

- 製品・技術等の概要
自動車部品であるサスペンションやシャシーで使用する強度と加工性を兼ね備えた鋼板であり、自動車の重量低減による燃費改善に貢献
- 先進性・独自性等
鋼板の製造において、微細化した炭化物を均一分散させる技術を確認したことで、強度と加工性の両立を実現
- ライフサイクルでのCO₂削減
従来の同一強度の自動車サスペンションアームと比較して、約20%のCO₂排出量を削減



株式会社東芝 小向事業所 幸区

製品・技術部門
大企業

- 製品・技術等の概要
集積された郵便物を1通ずつ搬送し、配達先ごとに区分を行う装置であり、従来機よりも軽量化・省電力化を実現
- 先進性・独自性等
消費電力を抑えてランニングコストを抑えると同時に、宛先読み取り率の向上などにより操作性や保守性を向上させ、人にも環境にも配慮した製品を実現
- ライフサイクルでのCO₂削減
同社旧製品と比較して、約25%のCO₂排出量を削減



和光産業株式会社 川崎区

サービス部門
大企業

- 製品・技術等の概要
ビル・建物の清掃において、強アルカリ性剥離剤を使用しない資源循環型の床ワックス管理システム
- 先進性・独自性等
床ワックス皮膜を水だけで剥離でき、また、従来焼却処理していた剥離廃液からワックス成分を簡単に回収し、他の製品の原料として再利用することで、CO₂排出量の削減に貢献
- ライフサイクルでのCO₂削減
従来の床ワックス管理と比較して、約90%のCO₂排出量を削減



平成27年度川崎メカニズム認証制度 認証製品・技術一覧

株式会社東芝 小向事業所 C帯固体化MPLレーダ

市内で研究開発、
最終製品製造

■製品・技術等の概要

マルチパラメータ観測技術や送信部の固体化技術などを駆使し、降水現象測定の高精度化、大幅な小型・軽量化を実現した気象レーダ

■先進性・独自性等

送信デバイスの固体化(電子管⇒半導体)により、送信装置の小型化(従来の1/3)、長寿命化、及び省電力化(従来から33%削減)を実現



■域外貢献量の算定時に比較した製品・技術等

前機種(クライストロン:電子管)システム

■域外貢献量

5. 59×10^2 トン(CO₂換算)(製品使用年数15年間)

■1台あたりのCO₂削減量

2. 82×10^2 トン(CO₂換算)

株式会社東芝 小向事業所 郵便区分機「TT-210」

市内で研究開発、
最終製品製造

■製品・技術等の概要

集積された郵便物を1通ずつ搬送し、配達先ごとに区分を行う装置であり、従来機よりも軽量化・省電力化を実現

■先進性・独自性等

消費電力を抑えてランニングコストを抑えると同時に、宛先読み取り率の向上などにより操作性や保守性を向上させ、人にも環境にも配慮した製品



■域外貢献量の算定時に比較した製品・技術等

前機種(郵便区分機「TT-200」)

■域外貢献量

1. 65×10^4 トン(CO₂換算)(製品使用年数15年間)

■1台あたりのCO₂削減量

2. 30×10^2 トン(CO₂換算)

インドネシア共和国バンドン市と川崎市との都市間連携 の促進に向けた覚書の締結について

インドネシア共和国バンドン市と本市は、平成 18 年から「アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」などを通じて連携・協力関係の醸成を行うとともに、平成 26 年度から国の二国間クレジット制度（JCM）を活用した事業を行っています。

平成 27 年 7 月には、都市間連携の包括的な取り決めに関する基本合意書を締結しておりますが、このたび、バンドン市と本市との都市間連携をさらに推進するため、低炭素で持続可能な都市の形成に向けた覚書を締結することになりましたのでお知らせします。

【覚書の概要】

- 環境分野における両市の効果的かつ有益な協力関係を推進・拡大することを目的としています。
- 協力範囲は、固形廃棄物管理、廃水管理、大気質管理、エネルギー管理、運輸技術等の環境分野で、環境技術の移転、人材育成、情報交換並びに研究機関との連携関係の強化を促進します。
- 具体的な取り組みを協議するため、両市で共同作業グループを設置し、短・中期的な活動を提案します。

【締結式】

1 日 時

平成 28 年 2 月 18 日（木） 15 時 30 分～16 時 10 分

2 会 場

とどろきアリーナ（センターステージ）

3 出席者（予定）

○バンドン市 カミール市長、地域開発計画庁長、国際協力庁長、環境管理委員会課長

○川崎市 福田市長、環境局長他

4 プログラム（予定）

- 開会
- 福田市長挨拶
- カミール市長挨拶
- 調印式
- 記念撮影

【問い合わせ先】

川崎市 環境局 環境総合研究所 都市環境課
〒210-0821 川崎市川崎区殿町 3-25-13
TEL: 044-276-8964

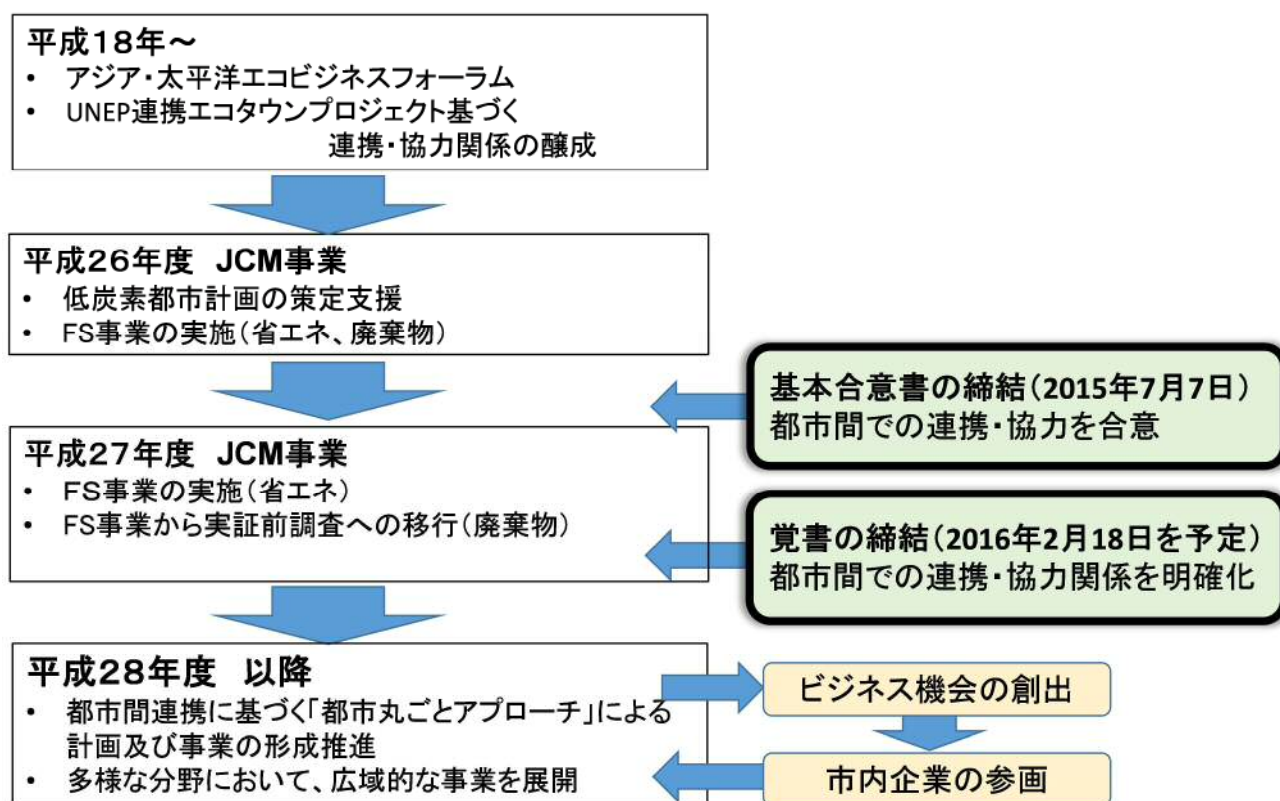
【覚書締結の経緯】

- バンドン市と本市は、「アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」や「UNEP 連携エコタウンプロジェクト」を通じて、2006年より都市間の連携・協力関係を醸成してきた。
- 2014年より、環境省「アジアの低炭素社会実現のための JCM 案件形成可能性調査事業」の枠組みのもと、バンドン市・川崎市の都市間連携による低炭素都市形成支援事業（JCM／実現可能性調査（FS）事業）を実施している。
- 2014年8月にバンドン市で開催された JCM／FS 事業のキックオフ会において、バンドン市長から、「覚書を締結し、川崎市とバンドン市間の連携・協力関係の強化をしたい。」との要請があった。
- 2015年7月7日にバンドン市にて基本合意書を締結し、新たな JCM 事業を実施している。

【覚書と基本合意書の関係】

- ・「基本合意書（Letter of Intent: LOI）」は、包括的な取り決めを規定する。
- ・「覚書（Memorandum of Understanding : MOU）」は、具体的な連携・協力内容を規定する。
- ・インドネシア国では、都市間における連携・協力事項に関する取り決めを締結する場合、基本合意書を締結した上で覚書を締結するのが通例となっている。

【都市間連携事業の展望】



インドネシア共和国西ジャワ州バンドン市と 日本国神奈川県川崎市との低炭素で持続可能な 都市形成に向けた都市間連携に関する覚書（案）

バンドン市（インドネシア共和国西ジャワ州）と川崎市（日本国神奈川県）は
（以後「両市」と呼称）、

両市の良好な連携と協力関係を促進するとともに；

両市が平等と相互利益の原則の重要性を認識し；

両国の法制度に則り；

2015年7月7日に両市で基本合意書（Letter of Intent）を締結した。

この基本合意書に基づき、低炭素で持続可能な都市形成に向けた都市間連携を
推進するため、下記のとおり本覚書（Memorandum of Understanding）を締結す
るものとする。

第1条 目的

本覚書は、バンドン市と川崎市との環境分野における都市間連携関係を構築す
るとともに両市の効果的かつ有益な協力関係を推進拡大することを目的とする。

第2条 協力範囲

両市は、各国の法令を遵守し、下記分野における環境技術の移転、人材育成、
情報交換、並びに、学術及び研究機関との連携を促進するために、覚書を実施す
るものとする。

- A 固形廃棄物管理
- B 廃水管理
- C 大気質管理
- D エネルギー管理

E 運輸技術

F 両市の合意に基づく上記以外の環境分野

第3条 資金調達

本覚書に定められている活動は、両市がその活動に充当できる資金と人材、そして、両市が同意したその他、充当可能な資源を活用するものとする。

第4条 技術的取り決め

1. 本覚書の内容を履行するため、両市は第2条に規定されている分野をその範囲とし、別途「取り決め」を締結するものとする。
2. 上記「取り決め」は、本覚書に定める条項に準拠し、プログラム又はプロジェクトのスケジュール、従事する職員、資金調達、両市が負担すべき責任、及び、その他必要な事項を明記するものとする。
3. 第2条に記載した協力分野に関連したプログラムの実施に際しては、必要に応じて、又は、両市双方における互惠協力を導くことができる個別プログラムにおいて第三者の参画を要請できるものとする。

第5条 知的所有権

1. 一方の市は他方の市の知的所有権をそれぞれの国が定める関連法令に準じて保護するものとする。
2. プログラム、又は、プロジェクトの実施によって知的財産が発生した場合は、原則として両市に属するものとし、その管理のために、両市はそれぞれの国内法規制に従って別途取り決めを締結するものとする。

第6条 秘密保持

1. 両市は、この覚書に基づく連携・協力を通じて相手方から入手した、又は渡した文書、情報そしてその他のデータ等の機密を第三者に開示・漏えいしないものとする。
2. もし一方が覚書に基づく連携・協力を通じて知りえた相手方のデータ、もしくは情報を開示する場合は、当事者は開示がなされる前に他方の市

から事前の同意を得るものとする。

3. 覚書が廃止されても、当該条項は両市を拘束するものとする。
4. 当該条項は両市における現行法令を改変するような権限をもつものではない。

第7条 共同作業グループ

1. 分野における活動を行うため、両市は「共同作業グループ」を設置し、短・中期的な活動を準備・提案するものとする。
2. 「共同作業グループ」のメンバーは、両市の代表者で構成するものとする。但し、両市の合意に基づき、必要に応じて、民間セクターを招聘し、当該グループの協議に参加させることができるものとする。
3. 「共同作業グループ」は、毎年バンドン市あるいは川崎市で交互に会合を開催するものとする。事情により年次会合が開催できなかった場合、当該会合の代わりとして文書を交換するものとする。

第8条 紛争解決

本覚書の解釈及び履行において不一致がある場合は、両市間の協議や交渉を通じて、友好的に解決するものとする。

第9条 改正等

本覚書は両市の書面による合意に基づき、必要に応じて訂正又は修正できるものとする。当該訂正又は修正は両市が定めた日時より効力を発するものとする。

第10条 効力の発生、期間と失効

1. 本覚書は署名した日から効力を発するものとする。
2. 本覚書の有効期間は3年間とするが、両市の合意に基づき延長できるものとする。
3. 本覚書は、一方の市が他の市に対して、6か月前に書面により、事前通告することにより、廃止することができるものとする。
4. 本覚書が終了された場合においても、両市の合意がない限り、本覚書の下で行われた取り決め、又は、進行中のプログラム及び活動は、それら

が完了するまで効力を持つものとする。

以上の証として正当な権限を与えられた両市が、本覚書に署名した。

20XX年XX月XX日付けで、インドネシア語、日本語、英語でそれぞれ2通の正本を作成した。全ての署名文は平等に効力を有するものとする。

本覚書の解釈に齟齬がある場合は、英語の覚書を優先するものとする。

年 月 日

インドネシア共和国
西ジャワ州バンドン市

日本国
神奈川県川崎市

バンドン市長
MOCHAMAD RIDWAN KAMIL ST., MUD.

川崎市長 福田 紀彦

「第12回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」の開催について

本市では、国連環境計画（UNEP）との連携や国の研究機関等の協力を得ながら、本市の環境技術を海外に発信していくことを目的に「アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」を開催しています。

このフォーラムは、本市とアジア・太平洋地域をはじめとする参加都市間の信頼関係の醸成の場として、また、市内企業の優れた環境技術や国内外の先進的な環境技術・戦略の情報交換の場として、川崎国際環境技術展 2016 と同時に開催します。

- 1 日 時 2016年2月18日（木）10:00～16:40
- 2 会 場 とどろきアリーナ（サブアリーナ研修室）
- 3 主 催 川崎市
- 4 共 催 国連環境計画 国際環境技術センター（UNEP IETC）、国立研究開発法人 国立環境研究所（NIES）
- 5 協 力 NPO 法人環境文明 21、NPO 法人産業・環境創造リエゾンセンター、公益財団法人 川崎市産業振興財団
- 6 後 援 環境省、経済産業省、一般社団法人イクレイ日本（ICLEI）、公益財団法人 地球環境センター（GEC）、公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）、一般財団法人 日本環境衛生センター（JESC）
- 7 参加者 UNEP、瀋陽市（中国）、ペナン州（マレーシア）、バンドン市（インドネシア）など
（予定）アジア・太平洋地域の都市、環境省、国立研究開発法人 国立環境研究所（NIES）、公益財団法人 地球環境センター（GEC）、公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）、一般財団法人 日本環境衛生センター（JESC）等
- 8 プログラム（予定）＜英語、中国語同時通訳あり＞
 - セッション 1：川崎環境都市モデルを東南アジアに展開する産官学連携に向けて
コーディネータ：国立環境研究所 社会環境システムセンター長 藤田 壮
 - 基 調 講 演：持続可能な開発目標の達成へ向けての廃棄物管理
国連環境計画 国際環境技術センター企画官
ムシタク・アハマド・メモン
 - セッション 2：川崎発企業による環境に係る国際貢献について
コーディネータ：川崎市国際環境施策参与 末吉 竹二郎
 - セッション 3：環境に配慮した都市づくりへの取組について
コーディネータ：国連環境計画 国際環境技術センター企画官
ムシタク・アハマド・メモン



【昨年度のフォーラム】

問合せ先
川崎市環境局環境総合研究所事業推進課
電話：044-276-9118